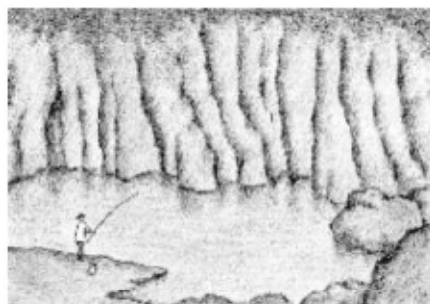


[今月の詩編]

第26篇

わたしは完全な道を歩きます。

わたしを濟れみ、贖ってください。



神の恵みを無駄にしない

「神の恵みを無駄にしてはいけません」という言葉は、ふたつのことを明らかにします。わたしたちが神さまから多くの恵みをいただいていること、その多くを無駄にしていることです。

外から家に入るときにはよく手を洗うでしょう。洗い終われば、水道の栓を閉めます。でもそれを忘れると、水は出しっぱなしになります。水にはわたしたちの喉を潤したり、植物を元気にする力がありますが、それが何の働きもせずただ流れて行くだけになってしまうのです。それが無駄です。

人の心を無駄にすることもあります。お母さんがせっかききれいに洗濯してくれた服を着て、どろんこ遊びをしたら、たちまち服が汚れてしまいます。お母さんの心遣いが無駄になってしまうのです。

神さまは、自分のことしか考えられないために、人を妬んだり、ずるいことを考えてしまうわたしたちの心をきれいにするために、わたしたちを神さまの子どもにしてくださいました。そのために、罪と何のかかわりもなかった主イエスを罪となさったのです。これは本当に大きな恵みです。主イエスを信じて洗礼を受けている人は、誰でも間違いなく神さまの子どもなのです。でもこれを心から信じて、感謝して受け入れなかったら、恵みは実を結びません。わたしたちは相変らず汚れた心のままです。

でもパウロは言います。自分は神さまの恵みを無駄にしない、と。だから、苦難や欠乏、行き詰まり、鞭打ち、監禁、暴動・・・の中でも、純真な心、寛容で親切な心、偽りのない愛の心を失わない。そうやってどんな人にも罪の機会を与えず（がっかりさせず）、どんなときでも神に仕える人として自分を現している、と言うのです。

こういう人は魅力がありますね。こういう人が身近にいたら、どれほど慰められたり、励まされたりするでしょうか。わたしたちは誰でも、自分を慰めたり、励まし、力づけてくれる人を求めるからです。

でもそれ以上に、わたしたちは、自分がそのような人、人を慰め、励まし、力づける人間になりたいという願いをもっています。「あなたのお姿に励まされています」とか「あなたのような生き方をしたい」と言われたら、どんなに嬉しいことでしょうか。そのとき、自分が生きている意味があると思うでしょう。神さまは、わたしたちのそのような願いを聞き入れて、そういう人間としてわたしたちを生かすために、わたしたちを神さまの子どもにしてくださいました。

それだけではありません。神さまは、わたしたちが神さまの子どもとして、清い心で生きられるように、毎週礼拝の場を用意し、わたしたちを招いて、罪を告白させ、牧師たちに御言葉を語らせ、聖餐に与らせ、祝福して送り出してくださいます。それだけでなく、わたしたちが御言葉を理解できるように聖霊が働いてくださっています。まさに、今は恵みのとき、今は救いの日なのです。

だから、毎週いただく御言葉の恵みを無駄にしないようにしましょう。少なくとも一週間は御言葉を忘れないように、心に刻みつけましょう。自分の生涯の目標とする御言葉を決めるのもよいと思います。

「いつも喜んでいる人生」や「絶えず祈る人生」、「どんなことにも感謝する人生」を日指すのはどうでしょうか。神さまの志みが、わたしたちの中に実を結んでくださいます。

(第二コリント6：1～11)

《 今日の礼拝 》

2022年8月7日 (日)

夏季礼拝 (9時30分より)

司 式 菊池 美穂子 副牧師
聖餐司式 貴 允潔 牧師 ・ 菊池 美穂子 副牧師

- 前 奏 「これぞ聖なる十戒」 J.S.バッハ
- 讃 美 山も野辺の空も
- 十 戒
- 告白の祈り
- 奉 獻 頌
- 使徒信条
- 收会の祈り
- 主の祈り
- 聖書朗読 土師記8章22～23節 (旧約 P.395)
- 説 教 「主が治められる」 宮岡 彰広 兄
- 讃 美 丘の上の教会へ(1、2節)
- 聖 餐 「オルガン協奏曲へ長調より」
(第2楽章アンダンテ) G.F.ヘンデル
- 報 告
- 頌 栄
- 派遣の言葉
- 祝 福
- 後 奏 「H194 おおみ神をほめまつれ」 L.テツ

《 今日のお知らせ 》

○8月28日までの夏季期間は、一回礼拝です。

○今週の夏季バイブルスクールの予定です。

「レビ記を読むために」

・8月 8日 (月) 午前10時30分より (B-1)

・8月 9日 (火) 10日 (水) 両晩とも

午後7時30分より (B-2)

「中高生の聖書の会」 (C)

・8月12日 (金) 午前10時半より

《 次週の礼拝 》

夏季礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 山も野辺も空も 丘の上の教会へ

説 教 「主は愛する者を鍛えられる」

聖 書 ヘブライ12章3節～13節

説教者 菊池 美穂子 副牧師

